



処分組合ニュース

- 【1巻】 多摩環境新時代が本格スタート!
- 【2・3巻】 処分組合が「ISO14001」の認証取得、多摩環境新時代を先導します
- 【4巻】 エコセメント活用、目の出たよの、顔面たよの など

発行：東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合

事務局〒1183-0052 東京都府中市駅前2-77-1 東京自治会館内 TEL:042-385-5847 FAX:042-384-8449
ホームページ <http://www.tokyo-shohakukai.com> メールアドレス tokumail@tokyo-shohakukai.com

加盟自治体

- | | | | |
|------|------|-------|-------|
| 八王子市 | 稲城市 | 津田町 | 西原自治 |
| 立川市 | 調布市 | 狭山市 | 東久留米市 |
| 武蔵野市 | 国分寺市 | 武蔵村山市 | 瑞穂町 |
| 二子川町 | 小平市 | 東大塚町 | 日野町 |
| 高橋町 | 日野町 | 東大塚町 | 日野町 |

処分組合は加盟自治体への自治体で運営されています

「処分組合とは…？」

二多摩広域、三多摩広域が、日本の自治体で初めて導入している環境マネジメントシステム「ISO14001」の認証取得を先導して、多摩環境新時代を先導します。目の出たよのを中心とした多摩の魅力を再発見し、環境の向上に努めています。みなさまと共に多摩の環境を大切にしています。

循環型社会づくりを力強く推進

多摩環境新時代が本格スタート!

昭和59年から平成10年まで多摩地域の廃棄物を埋立処分した谷戸沢処分場は、開設20周年を迎えました。処分組合では、これを記念するとともに、今後の多摩環境新時代を展望した式典を平成17年2月8日、立川にて開催しました。また、谷戸沢処分場がある日の出町は、旧大久野村と井井村が合併し本年で50周年を迎えたことから、これもあわせてお祝いしました。



土屋正忠管理長が多摩環境新時代への決意を述べた。



挨拶を述べられる土屋正忠管理長(左)と、日の出町・西原自治体副市長(右)。



会場では、日の出町の伝統舞踊である三浦子(左)と300歳子舞(右)が披露された。

多摩環境新時代がいよいよ幕開け式典開催で決意を新たに

去る平成17年2月8日、処分組合では、谷戸沢処分場開設20周年、および日の出町合併50周年を記念した式典「多摩環境新時代の幕開け」を立川において開催しました。

日の出町の方々をはじめ、東京都や地元自治体の議員の方々など約350名が列席、谷戸沢処分場のこれまでの歩みを紹介する映像の上映で式典がスタートしました。内陸型処分場では例のない規模であった谷戸沢処分場は、平成10年の埋立終了後も適正な維持管理が行われ、現在では多くの動植物が生息する草原や水辺として生まれ変わっています。

土屋正忠管理長は「処分場の受け入れを決断され、その後の建設・運営、二つ塚処分場の運営に至るまで三多摩は一つ一つの崇高な精神のもとご尽力いただいた日の出町のみならず、多摩地域390万人を代表して、あらためて感謝の意を表します」と挨拶、地元日の出町の第三自治会に対し感謝状の贈呈を行いました。

また、日の出町の青木剛太郎町長や東京都の福永正道副知事をはじめとする来賓の方々から、ご祝辞をいただきました。

処分組合ではこの式典をひとつの契機として、多摩環境新時代に先駆けたい資源循環型の社会づくりを一層力づくりに決意を新たにしました。

また、日の出町の青木剛太郎町長や東京都の福永正道副知事をはじめとする来賓の方々から、ご祝辞をいただきました。

処分組合ではこの式典をひとつの契機として、多摩環境新時代に先駆けたい資源循環型の社会づくりを一層力づくりに決意を新たにしました。

「ISO14001」の認証を取得 今後も処分場の適正な管理運営に努めます

処分組合では、かねてより申請中だった「ISO14001」の認証を平成17年1月21日に取得しました。

21日の記念式典において「ISO14001認証式」が行われ、(株)日本環境認証機構・伊藤信久社長より土屋管理長が登録証を受け取った。

世界的な基準である「ISO14001」の認証取得も、処分組合が環境を重視するひとつの取り組みであり、今後も引き続き環境に影響を与

えない処分場の管理運営に努めています。



(株)日本環境認証機構より、ISO14001の登録証が授けられた。

処分組合が「ISO14001」の認証取得。多摩環境新時代を先導します



ISOとは？ A. 「ISO14001」は世界標準の環境マネジメントシステム

「ISO14001」とは継続活動が環境におよぼす影響を最小限に抑え、これを目的とした、環境マネジメントシステムの国際規格です。組織が定めた環境方針を、経済的・技術的に可能な範囲内で達成し、継続的方法によって環境負荷を軽減することをめざしています。

組織は、まず「環境方針」を定め、それを表現する具体的な計画(Plan)を立て、実施・運用(Do)します。その結果を点検・確認(Check)し、見直しを行って(Action)いきます。この「PDCA」のサイクルを繰り返し、それに従うことで継続的な改善を達成、環境負荷の削減を続けていくというのが、ISO14001の内容です。



今後の運営の基礎となる「環境方針」を定めました

東京都3多摩地域廃棄物広域処分組合環境方針

＜基本理念＞

390万人の人々が暮らす東京都多摩地域からは、日々多くのごみが発生しており、ごみの収集から処分に至る過程で発生する様々な環境問題に対処することは、周辺地域のみならず地球環境にとっても緊急かつ重要な課題となっています。

「21世紀は環境の世紀」と言われます。この膨大なごみ問題の解決なくしては、私たちが受け継いできた環境を将来の世代に引き継いでいくことはできません。そのためには、ごみの発生から最終処分までのすべての過程で、住民、事業者、行政が役割を正しく果たし、各々の役割を認識し、廃棄物の適正処理はもとより、ごみの発生抑制やリサイクルの観点から活動すること、廃棄物の負荷を減らしていかねばなりません。

処分組合は、環境新時代にふさわしい最終処分場を創造するために、率先して環境について、環境目的及び環境目標を定め、定期的な見直しを行うことなど環境マネジメントシステムの改善により、環境保全活動の継続及び周辺地域の汚染の予防に努めています。

- ＜基本方針＞
- 1 地域住民の健康で安全な生活を確保し、さらには地球環境を保全するため、環境に関する法令や協定等を遵守して環境汚染の予防に努めます。
 - 2 庁舎及び一般廃棄物の処理に伴う作業活動において、省資源・省エネルギーを推進し、環境負荷の低減に努めます。
 - 3 一般廃棄物の排出抑制と再資源化への取組を進め、貴重な最終処分場を大切に使います。
 - 4 最終処分場内において、動物や水辺環境の保全・創出を進め、住民が身近に自然と触れ合うことのできる環境を確保します。
 - 5 循環型社会の実現に向けて、住民に見学会など広く環境学習の機会を提供し、ごみ問題の解決への意識を啓発いたします。
 - 6 環境方針は一般に公表し、入手できるようにします。また、処分組合が保有する環境に関する情報も、積極的に公表します。

2014年4月21日
東京都3多摩地域廃棄物広域処分組合
代表者 土屋正史

ホームページで
情報を公開しています
<http://www.tskyo-shubun.com>

ISO14001とどうなるの？ A. 環境保全に向けた目標が明確になります

ISO14001の取得に際して、まず環境保全に対する目標を定めることが要求されます。これを受け、処分組合では「環境方針」を決定、環境への負荷を継続的に低減していくための目標を一層明確にしました。

この「環境方針」に基づいて取り組んでいく今後の事業の方向性や、環境保全に向けた具体的な活動内容も明確になったといえます。こうしたことから、必要に応じて見直しを含め、全般的な事業の改善につながっていくことが期待できます。また、処分組合が環境方針に沿って適切に運営されていく、認証機関の定期的な審査も受けます。

これらの活動を継続することで、環境保全への取り組みが一段階進められ、多摩地域が環境先進地域として格好のいい地位を築くのも近づいていこうとしています。



日々の目的と結果は？ A. 継続的に環境への影響を軽減するのが目的です

● 認証申請の目的

処分組合では、従来より各種法律や公害防止協定などによる取組みに資し、処分場を効率的に管理運営してきました。また畜舎動物の保護や緑地の保全、さらに人と環境との共生性などの独自の取組を通じて、環境保全への努力を続けてきました。

これらの従来からの取組みの有効性、有用性を再認識し、今後も継続的な環境負荷の低減をめざすため、世界的な標準「ISO14001」の認証取得の申請を行いました。



2号処分場での作業の様子。環境保全に資する取組を進めています。

- 認証取得までの経緯
- 認証取得に際しては、1年3ヵ月か、次のように段階的な取組を行いました。
- | | |
|---|------------------------|
| 1 | 環境方針の策定 |
| 2 | 環境方針に基づいた環境目標の策定 |
| 3 | 環境方針に基づいた環境目標の達成に向けた取組 |
| 4 | 環境方針に基づいた環境目標の達成に向けた取組 |
| 5 | 環境方針に基づいた環境目標の達成に向けた取組 |
| 6 | 環境方針に基づいた環境目標の達成に向けた取組 |

● 環境マネジメントシステムの運用
- 運用と改善の体制

- 平成16年10月～12月にかけて各種審査を実施
- 審査の結果を踏まえ、経営層による高い思いと実施
- 平成17年1月12日、認証機関において判定合格が行われ、同日「合格」となり登録される
- 今後毎年サーベイランス(※)が実施され、3年後には更新審査が行われる

● ホームページ、環境新時代の情報発信に、事業を通じて、ごめいする環境マネジメントシステム構築の取組の成果を公開。

今後はどうなるの？ A. 「環境方針」と世界標準のシステムで処分場の適正な管理運営に努めます

今後処分組合では、ISO14001で定められた世界標準の規格に基づいた取り組みに、処分場の健全な管理運営を継続していきます。

また、今回定めた「環境方針」に基づいて各事業を展開します。例えば、環境方針を一般に公表するために「環境報告書」を作成、インターネットのホームページでも情報を公開していきます。環境学習の機会を提供しては、処分場見学会などを行い、環境方針に定めた内容を発信していきます。

さらに、再資源化への取り組みとして、ごみ焼却灰を資源として活用するエコエト事業を後

進、平成18年の施設稼働に向けて準備を進めています。

こうした活動は、いづれ必要に応じて継続的に改善を図ります。環境保全の活動や事業を通して、多摩環境新時代にふさわしい処分場の運営を行い、循環型社会づくりをリードすべく、これからも力を注いでいきます。



平成18年4月、施設稼働に向けて準備を進めています。平成17年4月、施設稼働に向けて準備を進めています。



エコセメント通信

「エコカラー」



エコセメントエコカラポイントをご多摩地区各地に設置しました。

ごみ焼却灰の再利用により生まれるエコセメント。発色組合は、エコセメントの利用や安全性などについて、多摩地域住民のみならずご理解をいただくために、実際にエコセメントを使用

して製造したポイントを、順次各地に設置しています。今回新たに日の出町および各市・町にご協力いただき、右記の場所にエコセメント製ポイントを設置しました。

●今回新たに設置した場所

設置場所	住 所
日の出町広場	日の出町大字東 2780
ひでの三ツつるつる遊戯	日の出町大字北野 4718
稲原園組合	美夏町南 4-9-10
ふじみ衛生組合	美夏町大字東町 7-60-30
多摩ニータウン 環境組合	美夏町北野 3-1-1



エコセメントを使用して製造したポイント。

【日の出町合併50周年記念】

第15回 桜まつりを開催

日の出だより

10月25日

日の出町では、春の訪れとともに平井田堤防沿いのツインソノ約150本が開花し、訪れる人々の目を惹きます。桜まつりの期間中午後3時～3時45分まで、桜に飾り付けた旗杆を点灯します。また4回(土)には町民グラウンドにおいてフリーマーケットやステージショーなどのイベント開催、柔道体験コーナーやミニ動物園、野外有料サービスなどをお楽しみください(午前10時～午後3時、雨天の場合は翌日開催)。

開催日/平成17年4月10日(金)～4月10日(日)

開催場/塩田緑地発射



多摩市 東京都 国



桜まつりで訪れる人を魅了してきました。

【日の出町合併50周年記念】

第6回 ふじまつりを開催

東京都の天然記念物にも指定されている「大久野ふじ」のあるフジノの森で、ふじまつりを開催。地元自治会のみならず平日の町民交流協会等が協力して飲食販売、郷土芸能などをしています。丘の上から見るのどかな山豆狸もおすすめです。

開催日/4月28日(祝) 午前10時～午後3時(雨天中止)

開催場/フジノの森

(〒185-0108 東京都日の出町大字東町1-1-1 月夜森公園内)〒185-0202



ふじまつりと山豆狸の可愛らしさの両方。

最新情報はこちら 日の出町ホームページ <http://www.town.hinode.tokyo.jp/>
日の出町役場 経済課農工課係 電話 042-597-0511(内線241-242)

三多摩は一つなり交流事業

連絡調整を強化していただいている日の出町の方々や多摩地域ほか1市の住民と、文化・スポーツなどの事業を通じて交流、相互の理解を深めていくことを目的とした活動

多摩は一つなりの交流事業1号を行っています。平成17年度の実施予定は以下の通りです。詳しくは各自治会体の広報等でお知らせします。ご協力ください。ぜひご参加ください。

平成17年度事業実施予定

実施年度	実施事業名	実施日	実施内容	実施場所	問い合わせ先
17年度	多摩は一つなりの交流事業1号	11月	11月 A&E 日経有まつり	日経有	多摩市 経済課農工課係
17年度	多摩は一つなりの交流事業2号	11月	11月 A&E 日経有まつり	日経有	多摩市 経済課農工課係
17年度	多摩は一つなりの交流事業3号	11月	11月 A&E 日経有まつり	日経有	多摩市 経済課農工課係
17年度	多摩は一つなりの交流事業4号	11月	11月 A&E 日経有まつり	日経有	多摩市 経済課農工課係
17年度	多摩は一つなりの交流事業5号	11月	11月 A&E 日経有まつり	日経有	多摩市 経済課農工課係
17年度	多摩は一つなりの交流事業6号	11月	11月 A&E 日経有まつり	日経有	多摩市 経済課農工課係
17年度	多摩は一つなりの交流事業7号	11月	11月 A&E 日経有まつり	日経有	多摩市 経済課農工課係
17年度	多摩は一つなりの交流事業8号	11月	11月 A&E 日経有まつり	日経有	多摩市 経済課農工課係
17年度	多摩は一つなりの交流事業9号	11月	11月 A&E 日経有まつり	日経有	多摩市 経済課農工課係
17年度	多摩は一つなりの交流事業10号	11月	11月 A&E 日経有まつり	日経有	多摩市 経済課農工課係

ホームページをご覧ください
<http://www.tokyo-shobunkumiai.com>

定例会は、各分組の教職員や有志の士達、水戸宮と調整協議の結果ホームページで公開しています。フェイスブック上にも掲載しております。気になることが出来るコーナーも好評です。ぜひアクセスしてみてください。

処分組合の動き

- 12月21日(火) 22日(水) ISO14001本審査
- 12月24日(金) 宮戸沢分組水質等調査結果公表(平成16年度上半期) ニッポン分組水質等調査結果公表(平成16年度20年報) 平成16年度自治体環境大賞中のダイオキシン類調査結果公表(平成16年度第1・2回) 森野ふじ交遊会
- 1月12日(水) ISO14001審査会が行われる(吉根ふじ交遊会)
- 1月25日(水) 2月1日(土) ニッポン分組数値物的大気中ダイオキシン類調査結果発表
- 2月 1日(土) 平成17年第1回定、調整委員会
- 2月 15日(土) 日の出町合併50周年記念「多摩環境時代の幕開け」記念式典の開催
- 2月18日(月) 平成17年第1回調整会
- 2月28日(月) 平成17年第1回分組連合会発表
- 3月 8日(火) 第2回自治体ニッポン分組調整委員会
- 3月15日(火) 第3回自治体宮戸沢分組調整委員会

平成17年度予算の報告

平成17年度の予算額は1億7,467万6,000円です。前年度と比べ法人が51億3,000円内減となったため、エコセメント化推進の推進事業をはじめとするエコセメント事業の推進と、エコセメント化推進の万全確保管理費に必要経費を計上する一方、不要不急の支出を削減、事業の推進に努めました。

●主な事業 1. エコセメント化推進調整工事 2. ニッポン分組内務科の専任年度管理費(調整委員、議会事務局技術支援管理費)



組合議会だより

各分組の議決は、多摩市議会(1)の議決後、議決の中心で進められています。

各分組議決の、平成17年第1回調整会が2月28日に開かれ、以下の案件について審議しました。

議案と実施経緯	件名	議決結果
平成16年度宮戸沢ニッポン分組水質等調査結果の公表(20年報) 一般会計課予算(20年報)について		議決可決
土地の確保について		議決可決
平成17年度宮戸沢ニッポン分組水質等調査結果の公表(20年報) 一般会計課予算(20年報)について		議決可決
平成17年度宮戸沢ニッポン分組水質等調査結果の公表(20年報) 一般会計課予算(20年報)について		議決可決
新築2号事務所建設費の追加(追加)の議決		議決可決

発行所: 日の出町役場

TEL: 042-385-5047 FAX: 042-384-8449

最新情報はこちら 日の出町ホームページ <http://www.town.hinode.tokyo.jp/>

フェイスブック www.facebook.com/tokyo-shobunkumiai